

猪苗代湖の湖底 調査成果を解説

長橋福大教授

福島大の「猪苗代湖の謎に迫る」湖底堆積物ボーリングによる成果の講演会と学習会は九日、猪苗代町の町体験交流館で開かれた。

同大共生システム理工学類の長橋良隆教授が講演した。同大は昨

猪苗代湖の成り立ちなどを説明する長橋教授
(右)



年九〇十一月にかけ猪苗代湖湖心部の水深約九十㍎地点を掘削調査

した。湖底を約三十㍎掘削し、湖が形成された年代が約四万二千年前とみられることが分かったという。

長橋教授は掘削によ

り、約三万年前に九州南部で起きた噴火の火山灰などが見つかったことなどを紹介し、調査の意義などについて解説した。